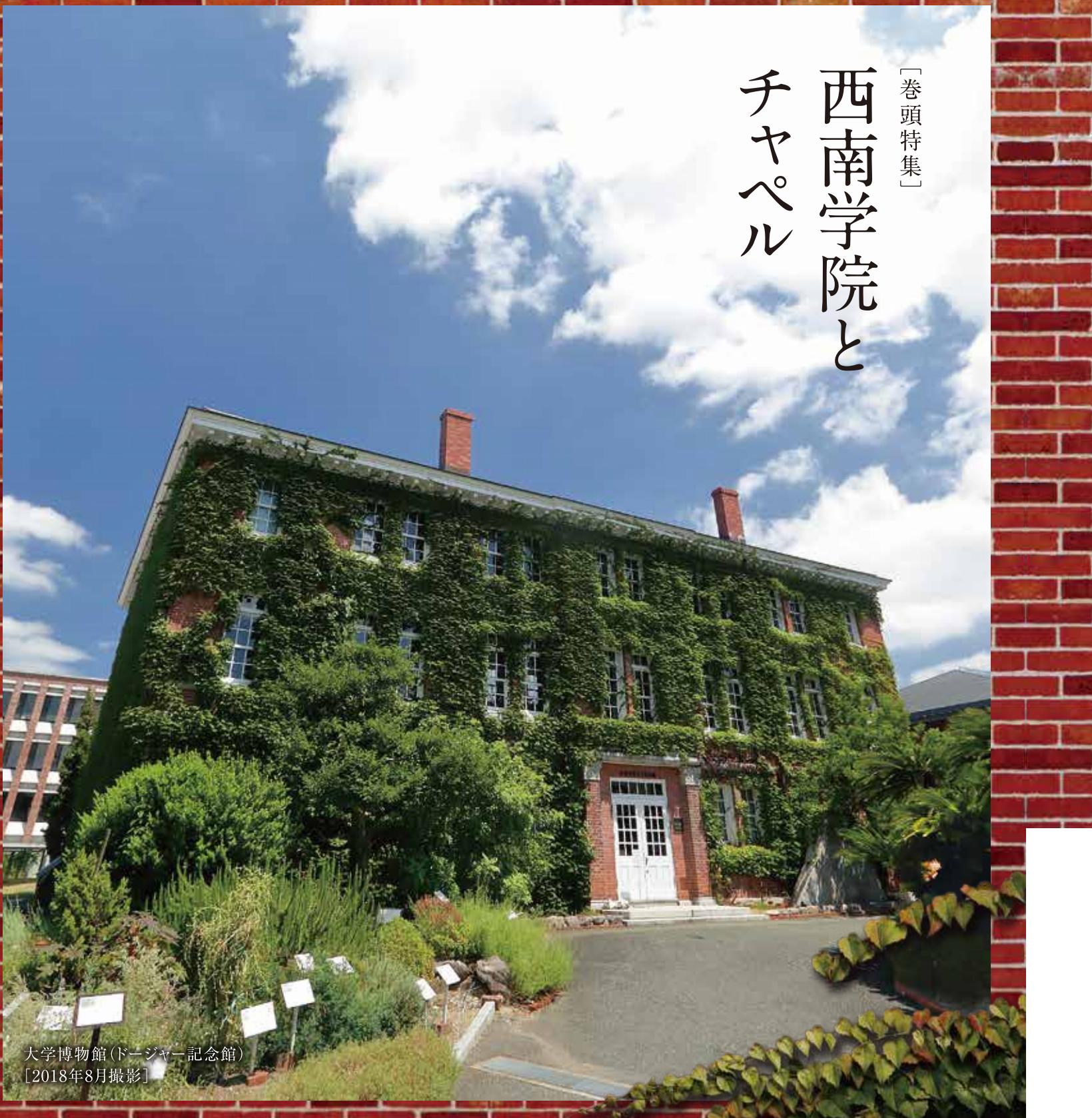


赤煉瓦通信

~一粒の麦から~

2019
Vol.5
□ 第5号 □

西南学院と
チャペル
〔巻頭特集〕



SCHOOL ORGANIZATION CHART

1万人を超える学生、生徒、児童、園児が通う西南学院。

西南学院は、保育所・幼稚園から大学・大学院までを擁する全国でも数少ない総合学園です。
保育所から大学院まで一貫した理念に基づいて保育、教育をしています。※データは2019年2月現在

西南学院大学

学生数: 約8,200人

1949年開設。人文・社会系総合大学です。開学当時からキリスト教に基づく人格教育を実践してきました。また、1971年に他大学に先駆けて国際交流制度を導入し、外国語教育をはじめとする国際教育の充実・向上を図っています。

長年にわたって培われてきた伝統は、社会的に高く評価されており、同窓生たちは、九州の経済界をはじめ、教育、マスコミ、法曹、福祉など多方面で活躍しています。



西南学院高等学校

生徒数: 約1,300人

全学年、毎日0限目から6限目まで7時間の授業が行われています(月曜のみ8時間)。多様化する大学入試にも対応できるように、習熟度や進度の違いに配慮して授業を実施しています。

知識の習得はもちろん、物事の良し悪しを判断する知恵と「自分にして欲しいことを勝手に行う」という積極的な生き方を身につけ、それをいかに社会に生かしていくかを学びます。



西南学院中学校

生徒数: 約650人

一人ひとりが授かった能力や個性を最大限に伸ばすことができる教育を目指し、中高一貫教育を実施しています。

6年間にわたるゆとりあるカリキュラムと豊かな環境の中で、生徒たちが存分に知識や能力を伸ばすと同時に、聖書に示されている価値観や人生観を学んだり、クラブ活動や国際交流、ボランティア活動等を通して、豊かな人格形成ができるように配慮した教育を実施しています。



西南学院小学校

児童数: 約420人

2010年に開校した、西南学院の中でも最も新しい学校です。心身ともに成長著しい小学校の課程において、キリスト教の精神に基づいた教育理念のもとに「隣人愛を育む」「知恵を育む」ことを目標として、平和な未来を創る子どもたちの育成に努めています。

環境に配慮して設計された校舎内は最新の教育機器を備えており、教育の質的向上が図られています。



西南学院舞鶴幼稚園

園児数: 約170人

福岡市内で最も歴史のあるキリスト教主義の幼稚園です。「心ゆたかでたくましいひかりのこ」を目指して、太陽と土と水と緑に触れながら感性豊かに育ち合う子どもたちを育成しています。一人ひとりの子どもの気持ちをくみ取ることができるよう、各クラスを複数担任で受け持っています。

思いやりの心を培いながら、個性豊かにのびのびと生きていく力を育む保育を実践しています。



西南学院早緑子供の園(保育所)

園児数: 約90人

0歳児から6歳児までの園児が長時間生活する場として、家庭的な雰囲気と丁細かな育児を心がけています。

「神様に愛され守られて成長していく一人ひとりの子どもを大切に」というキリスト教を礎とした保育理念を柱に、子どもたちが神様の深い愛に包まれている安心感を持ちながら、生きる力の基礎となる心の土台を育んではほしいと願い、保育を進めています。



【“一粒の麦”について】 「一粒の麦」は、イエス・キリストが言られた「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒の麦のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」を語源としたものです。広い世界の中で、西南学院は「一粒の麦」であり、西南学院で学ぶ一人ひとりもまた「一粒の麦」と言えます。「一粒の麦」が持つ可能性を信じ、社会のために尽くしていくことこそが創立者の想いであり、それは今もなお大切に受け継がれています。

学校法人 西南学院 <http://www.seinan-gakuin.jp>

西南学院大学・大学院／西南学院中学校・高等学校／西南学院小学校
西南学院舞鶴幼稚園／西南学院早緑子供の園(保育所)

西南学院広報誌

赤煉瓦通信 ~一粒の麦から~

2019年4月15日発行(年1回発行)

学校法人西南学院 総合企画部 広報・校友課

〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92

TEL.092-823-3248

西南学院

祈りと人生について

今回の赤煉瓦通信のテーマは「お祈りの時間」です。皆さんの中には、チャペルに参加した経験があることと思います。チャペルでは、講師が皆さん的人生のためにいろいろな角度から講話をされます。しかし、チャペルの時間は、講話と賛美歌だけではなく心を静めて自分に向きあう祈りの時もあります。この祈りの時間は、とても大切な時間です。

実は、祈りというのは私の専門分野であり、キリスト教の歴史における祈りについて研究してきました。大学の留学生別科の授業で「比較宗教」を担当したこともあります。この二つの経験を合わせて思ったのは、世界の宗教の共通点として、祈りが大切だということです。例えば、イスラム教でよく知られていることに、1日に6回の祈りの時間で守るということがあります。他の「神教である、ユダヤ教もキリスト教も祈りの時間を軸としています。その他に、神道と仏教においても祈ることが大事にされていると思います。

宗教はいろいろとありますが、人間はどうでしょう。私ごとで恐縮ですが、ほぼ毎日、祈りの時間から一日を始め

るという習慣があります。自分の心（精神）が整えられてから一日の生活になります。きっと多くの皆さんも祈るという経験をお持ちでしょう。例えば、思わず「助けてください！」という気持ちが湧いてくる時には、これはひとつ「祈り」です。また、「お願いや」「希望」として、自分以外の知恵、力や協力を求めるのも「祈り」です。

皆さんも、毎日の生活の中で数分でも結構ですので、チャペルをはじめとして、心を静めて自分を見つめる「お祈りの時間」を実践されてはいかがでしょうか。



西南学院院長・学長
G.W.パークレー

写真:西南学院大学チャペルのパイプオルガン

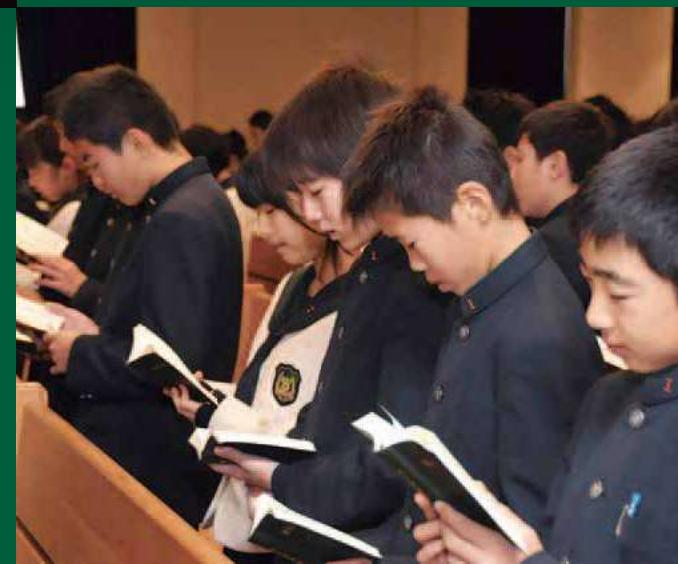
西南学院広報誌 赤煉瓦通信

～一粒の麦から～

Vol.5 第5号 2019

西南学院

学院メモリアル・学びの現場から	9
[特集2]西南学院リレーション対談	11
卒業生からのメッセージ	13
SEINAN TOPICS	15
学院のフィールド	19
SEINAN HOT NEWS	20
西南学院大学サポートーズ募金	21
西南学院からのお知らせ	22
西南学院概要	裏表紙



西南学院は、創立者C・K・ドージャーの遺訓「西南よ、キリストに忠実なれ」を建学の精神として受け継ぎ、キリスト教を基盤とした独自の教育を実践しています。

今回は「西南学院とチャペル」についてお伝えいたします。

その教育の中心となっているのがチャペルです。

今回は「西南学院とチャペル」についてお伝えいたします。

「卷頭特集」

西南学院とチャペル

西南学院は、創立者C・K・ドージャーの遺訓

「西南よ、キリストに忠実なれ」を建学の精神として受け継ぎ、キリスト教を基盤とした独自の教育を実践しています。

その教育の中心となっているのがチャペルです。

今回は「西南学院とチャペル」についてお伝えいたします。

自分の生き方を考える場所、 西南学院のチャペル

西南学院は創立から100年以上の時を経て今日に至ります。

時代は移り変わり、街の風景も、校舎も変わりましたが、脈々と受け継がれてきた建学の精神と

チャペルのある学院であることは今も昔も変わりません。これまでに多くの卒業生が、チャペルで聖書を読み、

これまでに多くの卒業生が、チャペルで聖書を読み、賛美歌を歌い、祈りをささげてきました。

現在では、大学、中学校・高等学校、小学校にチャペルがあり、在校生は卒業生が辿ってきたように

チャペルでの時間を過ごしています。

神に愛され、生かされていることに気付き、自分の生き方を考える場所、西南学院のチャペル。

これからも、キリスト教教育を実践する神聖な空間として、西南学院に関わるすべての人たちのためにあり続けます。



大学博物館(ドージャー記念館)内講堂



2010



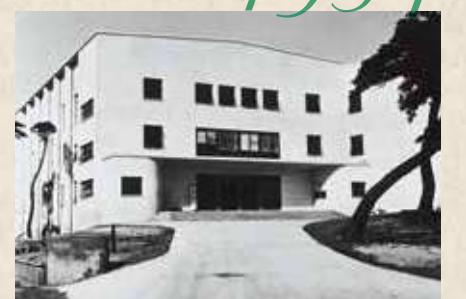
2008



2003



1987



1954



1921

2010年4月、西南学院中学校・高等学校の西隣に西南学院小学校が開校。約210人収容の小学校のチャペルは、西南学院としては最も新しいチャペルとなる。

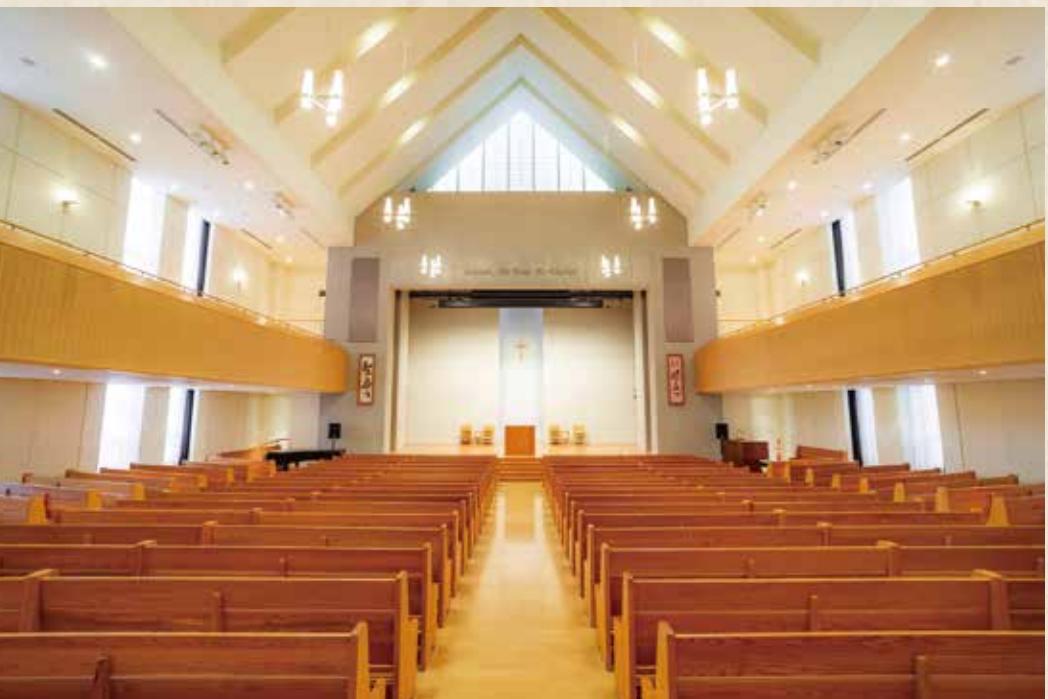
2006年、老朽化によりランキン・チャペルが惜しまれながら取り壊された。その後、2008年3月に大学新チャペルが竣工した。904人収容で、チャペルアワーだけでなく講演会、コンサートなどが催されている。

2003年2月、大学のグラウンドとして使用していた百道浜校地に、チャペルを擁する西南学院中学校・高等学校の新校舎が完成した。

1987年10月、学院創立70周年記念事業の一環として、北ドイツ・バロック様式のパイプオルガンがランキン・チャペルに設置された。

1954年9月、本学のキリスト教教育のシンボル、ランキン・チャペルが竣工。完成以来、入学式、卒業式など学内の重要な行事には必ず使われた。

1921年、西南学院本館(現・大学博物館)が竣工。現存する学院最古の建築物で、西南学院高等学校講堂などを経て、現在もチャペル(講堂)として使用されている。



生徒の声

西南学院高等学校2年
はす むらかなかで 蓮村 奏さん

普段は会えない方に出会え、多くの学びを得られる場です。

キリスト教教育を象徴する場として神と向き合い、神の言葉に耳を傾ける。

西南学院中学校・高等学校のチャペルは、礼拝の他、入学式・卒業式などの行事にも使われています。正面の壁には創立者C・K・ドーディヤーの遺訓である「西南よ、キリストに忠実なれ」が英文で刻まれています。

チャペルは、神に愛され、生かされている自分に気づき、生き方を考える場所です。毎週1回、中学は全校生徒、高校では学年ごとに集まり、礼拝を行っています。礼拝では、生徒・教師が賛美歌を歌い、共に祈ります。神の前にひとつになる時間です。

また、年に2回、全国各地から牧師をはじめ、文化人・事業家・音楽家・学者などキリスト者として優れています。

た働きをされている方々を講師に迎える特別チャペルであるミッショナリーウィークがあります。ミッション・ワイークは生徒たちが、福祉や平和問題など、キリスト教に立脚した生き方に触れつつ、自分のミッション(使命)を考える機会となっています。さらに、12月に行われるクリスマス礼拝では、生徒・保護者・教職員が共に献金をささげ、さまざまな団体へ寄付を行っています。

天井高く、やわらかな陽の光と木のぬくもりで開放感あふれるチャペルは、生徒の豊かな心を育む所です。

週に一度のチャペルでは、普段生活している中では出会えないさまざまなお話を聞くことができます。私にとってチャペルは、講師の方の体験を聞くことで、新しい価値観を知るよい機会であり、日頃

の勉強だけでは得られないことが学べる場所です。昨年のミッション・ワイークでは、難病と闘う子どもたちの夢をかなえるボランティア団体の方から話を聴きました。夢を持つことが生きる力となることを感じ、自分の夢と向き合うよい時間となりました。また、クリスマス礼拝では、弦楽部の一員として演奏奉仕をしました。普段の礼拝と違い、みんなでチャペルを作り上げる感覚がありました。弦楽部の練習場所として利用していることもあり、チャペルを身近に感じています。

チャペルでお祈りをし、賛美歌を歌い、講師のお話を聴くことを通じて、神様の前で一週間を振り返り、自分を見つめ直すことができています。

学生の声

西南学院大学
国際文化学部国際文化学科4年
よし永 ながはる 晴香 かわさん

チャペルアワーでは、毎回新しい発見があります。

私は、1年次から、毎週3回のチャペルアワーに欠かさず出席しています。元々、キリスト教の洗練されたイメージに惹かれて入学したこともあり、チャペルの雰囲気に憧れていました。チャペルアワーでは賛美歌を歌い、お祈りをして、講師の方の講話を聴きます。講師は大学の教員や牧師の方だけでなく、アーティストの方が来られて弾き語りのライブが行われることもあります。自分とは違う世界に生きる方々から、さまざまな考えを学ぶことができ、視野が広がりました。

私は、1年次から、毎週3回のチャペルアワーに欠かさず出席しています。元々、キリスト教の洗練されたイメージに惹かれて入学したこともあり、チャペルの雰囲気に憧れていました。チャペルアワーでは賛美歌を歌い、お祈りをして、講師の方の講話を聴きます。講師は大学の教員や牧師の方だけでなく、アーティストの方が来られて弾き語りのライブが行われることもあります。自分とは違う世界に生きる方々から、さまざまな考えを学ぶことができ、視野が広がりました。

「西南よ、キリストに忠実なれ」の建学の精神のもと、「キリスト教学」や「チャペルアワー」という独自の教育プログラムが設けられています。

「キリスト教学」は学生全員が履修する必修科目です。この科目を通して聖書の学問的理解、キリスト教の教理および倫理思想などの概説を学び、キリスト教への知的理解を深めることにより学生個人の人格の形成に寄与することを目指しています。また、欧米のキリスト教文化の原点を知ることで、国際社会における課題への理解を深めることも目指しています。「チャペルアワー」は、大学チャペルにおいて毎週3回、

「西南よ、キリストに忠実なれ」の建学の精神のもと、「キリスト教学」や「チャペルアワー」という独自の教育プログラムが設けられています。

「キリスト教学」は学生全員が履修する必修科目です。この科目を通して聖書の学問的理解、キリスト教の教理および倫理思想などの概説を学び、キリスト教への知的理解を深めることにより学生個人の人格の形成に寄与することを目指しています。また、欧米のキリスト教文化の原点を知ることで、国際社会における課題への理解を深めることも目指しています。「チャペルアワー」は、大学チャペルにおいて毎週3回、

週テーマに基づいた講話を中心にキリスト教の礼拝形式で実施されています。個人の主体的な課題である人格形成に関する事柄や人生と社会の諸問題などをについて、聖書を倫理的な基礎としてさまざまな角度からテーマを設定します。それは社会生活の基盤と人生観の確立に寄与しようとするものです。特に春と秋に実施される「キリスト教フォーカス・ワイーク」では、内外からさまざまな分野で活躍する著名なキリスト者を講師として招いてじっくりと講話を聞く「ロングチャペル」を行っています。

学生の人生観の確立に寄与する、独自の教育プログラム「チャペルアワー」。



神様に見守られ
「ひかりのこと」を育てる。

舞鶴幼稚園では、毎日礼拝の時を守っています。基本的には保育者がお祈りをしますが、子どもたちが内容を考える時もあり、「休んでいる友達が早く幼稚園に来れますように」、「○○君の怪我が良くなりますように」など仲間を思いやるお祈りを行っています。花の日礼拝や感謝祭礼拝などの特別な礼拝は、ホールで行い、園児だけでなく保護者や早緑子供の園の子どもたちが参加することもあります。

舞鶴幼稚園の保育理念は、「ひかりのこ」を育てるということです。神様がいつも近くにいて見守ってくださるという安心感のもと、自分を愛し、友達や仲間を愛し、仲間と力を合わせ毎日を伸び伸びと子どもらしく過ごしてほしいという願いが込められています。

神様の愛と恵みに感謝するお祈りを通して、この保育理念を大切に伝えています。



自身と他者、
互いを尊重する心を育む。

早緑子供の園では、幼児クラス（3～5歳児）は週の初めに必ず礼拝を行い、クラス全体で祈りの時を持ちます。また、乳児クラス（0～2歳児）も日々の食前に手を合わせ、感謝して食事をいただきます。イースター礼拝、花の日礼拝、感謝祭礼拝、アドベント礼拝などの行事を通して、また、日々の遊びや生活の中でも神様に愛され守られていることを実感できるようになります。

子どもたちは、感謝や願いを神様と「お話」をするように祈ります。祈りの時は、いつもそばにいてくださる神様を身近に感じ、両親や病気で休んでる子どもや、世の中のさまざまなものに思いをはせる時もあります。お祈りをすることで、子どもが自分で存在そのものを尊く感じることができます。また、他者を尊重し、人の温かさ、力強さ、慈しみの思いなど目に見えないものを大切だと感じる心を育む教育を実践しています。



児童の声

毎朝のチャペルの時間は
とても勉強になっています。

授業が始まる前、毎朝15分ほどのチャペルの時間がありますが、宗教委員会はそのまま進行役をしています。私たちは、私たちのことを見守つてくださる神様のことや聖書のことを探りたいと思います。

校長先生や教頭先生、宗教主事の先生のお話を聴いています。一日の始まりに、神様にお祈りすることでも、とても気持ちを落ち着けることができます。また、先生方のお話から聖書を深く知り、神様が私たちを愛してくださっていることを実感することができます。

私たちは、低学年や中学年の人に向けて、聖書を使ったクイズなどを出すこともあります。ですが、そのような活動を通して、これからも学校のみんなに楽しみながら聖書や神様についてもっと知つてもらいたいと思っています。



西南学院小学校
宗教委員会(6年生)

2010年に開校した西南学院小学校は、キリスト教を基盤とした「眞理を探求し、平和を創り出す人間の育成」という教育理念を軸に、「隣人愛を育む」「(他者を思いやり、いじめや差別をこえた愛の心を育む)」「知恵を育む」「自己と他者のつながりを大切にし、平和な世界の実現のために、眞理を求めようとする態度を育む」という2つの教育目標を掲げています。

これらの教育目標を体現する場となっているのがチャペルで、開校以来毎朝8時30分からチャペルの時間が設けられています。爽やかな朝の光に包まれた毎日のチャペルでのひとときは、児童が自分自身と向き合い、内的成長を遂げていく貴重な時間となっています。

また、毎日のチャペルの時間の他にも4月の第3金曜日には「イースターチャペル」、5月と10月には「ミッショナリーチャペル」、6月には「花の日チャペル」、11月には「サンクスギビングチャペル」、そして、12月には「クリスマスチャペル」といった特設チャペルを行っています。なお、年に2回のミッションノウイークは、外部から講師の先生をお招きし、2日間にわたって行っています。春と秋のどちらか1回は保護者を対象としたチャペルも実施しています。

向かい、内的成長を遂げていく貴重な時間となっています。

また、毎日のチャペルの時間の他にも4月の第3金曜日には「イースターチャペル」、5月と10月には「ミッショナリーチャペル」、6月には「花の日チャペル」、11月には「サンクスギビングチャペル」、そして、12月には「クリスマスチャペル」といった特設チャペルを行っています。なお、年に2回のミッションノウイークは、外部から講師の先生をお招きし、2日間にわたって行っています。春と秋のどちらか1回は保護者を対象としたチャペルも実施しています。

2つの教育目標を基礎とした、
自己を見つめるチャペルの時間。

学びの現場から

学びの現場から①

修了レポート

西南学院中学校



西南学院中学校・教諭

石原 佳奈



昨年度の修了レポートをまとめた冊子。4月のガイダンスから始まり、約1年かけて完成する3年間の集大成。

写真や図を使つたポスター形式や、2000字ほどの手書き原稿など様式はさまざまです。ある生徒は、博多で長年続く「博多祇園山笠」の成り立ちを調べ、祭りの様子を撮影し、写真と文章で報告しました。他にも、「香辛料でカビを防げるのか?」をテーマに実験結果をまとめた生徒もいます。レポート完成までにガイダンスやテーマ決定、西南学院大学の教授による研究に関する講演会など、多くのステップを踏みます。その中で、生徒たちは疑問を抱くことの大切さや情報の扱い方、わかりやすい伝え方など、多くの発見をしました。助言担当の先生のアドバイスで視野が広がり、新しい疑問が湧いた生徒もいます。

テーマ決定や進行において困難もありましたが、それぞれがしっかりと「学びの跡」を残すことができました。今後は、研究テーマについて大学教授や専門家の話を聞きに行き、機会を設けるなど外部とも連携し、生徒にとってさらに大きな意義のある取り組みになればと思います。

昨年度、中学3年生を対象に「修了レポート」を実施しました。これは、中高一貫教育の前半3年間の学びの集大成として、生徒自身で一つのテーマを決め、そのテーマについて研究した結果をレポートとして提出してもらっています。2017年度は「アーティスト」として試行し、今回から初めて本格的に開始しました。このレポートを通じて深く考える力や意見を論理的に発信できる力を育成を目指しています。



西南学院小学校・カウンセラー

廣瀬 由紀



講座の後には、児童から「中学生になる前に心の準備ができて安心した」との言葉が聞かれました。

たことがきっかけでスタートしました。環境の変化に対処できる力を身に付けることは、児童の社会性を育てていく上で重要なことです。中学校へ進学する6年生の児童は、新しい環境を前に不安を抱いていることがあります。講座では、教科ごとに先生が変わると、部活動が始まるなど、小学校生活と中学校生活の違いを取り上げ、中学校生活のイメージを具体的に膨らませていきます。また、中学生が迎える思春期は、心と体が子どもから大人へと徐々に変化していく大切な時期です。中学校生活で人間関係に悩んだり、人と比べて自信をなくしたりすることは、自立に向かって試行錯誤している成長の証であると伝え、思春期を乗り越えていくための心の準備を行います。

現在、講座は卒業前の1回だけですが、今後は、卒業前講座に限らず、感情の「コントロール」や「コミュニケーション」のスキルなど、児童の年齢や発達段階、抱える問題などに応じた心理教育を開催することで、児童の複雑で繊細な内面に丁寧に対応していくことを考えています。

たことがきっかけでスタートしました。

環境の変化に対処できる力を身に付ける

ことは、児童の社会性を育てていく上で重

要です。中学校へ進学する6年生の児童は、

新しい環境を前に不安を抱いていることが

あります。講座では、教科ごとに先生が変わ

る、部活動が始まるなど、小学校生活と中

学校生活の違いを取り上げ、中学校生活のイメー

ジを具体的に膨らませていきます。また、中

学生が迎える思春期は、心と体が子どもか

ら大人へと徐々に変化していく大切な時期

です。中学校生活で人間関係に悩んだり、人

と比べて自信をなくしたりすることは、自立

に向かって試行錯誤している成長の証であ

ると伝え、思春期を乗り越えていくための

心の準備を行います。

現在、講座は卒業前の1回だけですが、今

後は、卒業前講座に限らず、感情の「コント

ロール」や「コミュニケーション」のスキルなど、

児童の年齢や発達段階、抱える問題などに

応じた心理教育を開催することで、児童の

複雑で繊細な内面に丁寧に対応していく

ことを考えています。

「三葉の松葉」の校章。戦時中の

金属類回収令のため、陶器製に変わった



ドージャーが考案したモノグラムの校章



学院メモリアル GAKUIN MEMORIAL

西南学院の校章

これまで、西南学院の校章に関する明確な資料はありませんでした。しかし、「西南学院百年史」の編纂を進める中で、1931年の創立15周年にC・K・ドージャーが書いた原稿が見つかりました。「私は、学校の校章となるモノグラム(組み合わせ文字)のひな型を描きました」という短い内容の英文資料で、校章については、わずか数行の言及でしたが、考案者を明確にする貴重な資料となっています。

ドージャーが考案した校章は、サウス・ウエスタン・アカデミー(South Western Academy)の頭文字「S・W・A」のモノグラムでした。しかし、アジア・太平洋戦争中は、英語の校章は適当ではないという声が強くなっていました。そこで、学院は、「信・望・愛」を象徴した「三葉の松葉」によるデザインを採用し、材質も戦時中に出された金属類回収令のため、陶器製に変えました。戦後、中学校はこれを引き続き使用し、高等学校、専門学校では、旧校章に戻しました。

学院は、創立100周年の記念事業を行ったあたり、2010年に「SW」のデザインと各学校名のロゴマニュアルを作成しました。現在では、「SW」のデザインを校章として使用しています。

「優秀な」人よりも「善き」人に。西南学院に満ちた「愛」。

西南学院の卒業生として
母校の教壇に。

鳥 越

西南学院には、中学生の頃から憧れしており、高等学校、大学、大学院でお世話になりました。現在は学ぶ側から教える側に変わりましたが、「こうして振り返るとまさに私は西南学院筋と言えます。」ノ瀬先生も西南学院出身ですかね？

西南学院
大学 × 学院学校
西南高等

先生、語り合う



西 南 学 院 高 等 学 校・教 論
一ノ瀬 雄 太



鳥 越 千 絵

西南学院大学
文学部外国語学科英語専攻
准教授

日にはチャペルアワーがあり、年に2回の
フォーカスマイク、クリスマス前のア

ドベンツの期間はよりいつそ
にぎやかになります。ボランティアワークで海外へ行

く学生もたくさんいます
ね。神学部もあり、キリスト教は学生にとつ

鳥 越

西南学院には、中学生の頃から憧れしており、高等学校、大学、大学院でお世話になりました。現在は学ぶ側から教える側に変わりましたが、「こうして振り返るとまさに私は西南学院筋と言えます。」ノ瀬先生も西南学院出身ですかね？

西南学院
大学 × 学院学校
西南高等

一ノ瀬

私は中学校・高等学校の6年間西南学院に通い、6年前に母校に戻ってきました。現在は、高等学校の公民と現代社会、政治経済、倫理の授業を担当しています。中学生は朝礼、高校生は終礼で毎日聖書を読み、賛美歌やお祈りの時間も設けているので、生徒たちは日常的にキリスト教の精神に触っています。聖書の授業も週1回あるほか、週に1回のチャペルや年に2回の人権・「同和」教育を通して学院の精神を伝えています。大学ではいかがですか？

鳥 越 大学ではキリスト教学の授業が必修科目です、すべての学生が聖書の教えを学びます。毎週火・水・木曜

て身近な存在だと
思います。

現代社会を独自の観点で見つめ 自分で考え、行動する力を養う。

鳥 越 キリスト教精神に基づく教育について高等学校では、どのようなテーマを扱うのでしょうか？

一ノ瀬

例えば、聖書の授業では、生命倫理や脳死、臓器移植などのテーマから命について考えたり、聖書に描かれている愛について考えたりします。私の場合は、外国人労働者の問題など、主に現代社会に焦点を当てた授業を行っています。社会の仕組みやルールについて、自分の力で考え、発信する力を養うためです。鳥越 とても大切なことです。それは私が大学で教えている「異文化コミュニケーション」とも共通するテーマです。歴史や文化、宗教など多様な観点から自己を客観的に見つめ、自分と違う考え方や多様性を受け入れる。実に本質的な要素ですね。

一ノ瀬

言葉では表現しにくいのですが、西南学院には温かい「愛」や「空気感」、「薰り」があふれている、今も昔も感じています。世間では、優秀で何でもできるような、いわゆる「できる力」が評価されていますが、私たちが育てていきたいのは「できなくても良い『愛』」や「空気感」、「薰り」があふれていることを。「優秀な」人よりも「善い」人になること。この2点を生徒たちに伝え続けたいと思っています。

鳥 越 とてもよく分かります。自身、在学中に「できな

くともいいんだ」と思ったら、すぐ心が楽になつた経験があります。その根源にあるのは「自分自身を認める」ことです。自分をよく知ることで初めて、他者を大切にできると思います。

鳥 越 親子で西南学院に通う方は多いのは、世代を超えてそのような価値観が伝わっているからでしょう。

精神だと思います。今はますます「西南学院らしさ」が問われる時代になるはずです。世間と同じ基準で動くのではなく、西南学院らしい価値観を持つた人間が社会に出て、その価値が世に広がるのが理想ですね。

鳥 越 大学では言語教育センターや図書館が新しくなり、海外協定校が29ヵ国96校に増えるなど、キャンパスの環境は変化していますが、根底にあるものは変わらないと私も確信しています。

2020年には文学部を改組し、外国語学部が誕生します。言語を学ぶだけでなく、自ら考え、グローバル社会に対応できる「西南学院の精神」を持った学生を育てたいと考えています。

一ノ瀬

先生、今日はありがとうございました。これからも生徒のため、学生のため、お互い頑張っていきましょう。

鳥 越 同感です。西南で過ごした日々は、いつも「愛」に満ちていました。その空気感が大好きだったから、今もこうして西南学院で教鞭を執っているのだと思っています。

先生、今日はありがとうございました。これからも生徒のため、学生のため、お互い頑張っていきました。

MESSAGE FROM THE GRADUATES

卒業生から のメッセージ



【プロフィール】1965年生まれ。専修学校コンピュータ教育学院卒業後、カリフォルニア州立大学ノースリッジ校に留学。1992年に「ユウ・ワン デザイン」を設立後、レーシングドライバーのヒロ・松下選手のインディーカーデザインを手掛けるなど、モータースポーツの分野を中心に多岐に活動。2009年よりピンクリボン活動「THINK PINK!」主宰。2012年より専門学校麻生工科自動車大学校 非常勤講師

◎「ユウ・ワンデザイン」電話:092-846-2775 <http://www.you1design.com>



在園中の写真。後列右端が古川さん。当時の一緒に遊んでいた仲の良かった友人とは、約50年の時を経た今でも交流がある。

ら前進します。

幼少期に育まれた旺盛な好奇心。それが、今の私の原動力です。

古川 雄一さん

グラフィックデザイナー
ユウ・ワン デザイン代表

1971年 西南学院早緑子供の園卒園

両親が共働きだったこともあり、私は0歳から早緑子供の園に入園しました。

早緑子供の園ではとにかく遊び、笑う、動きまる毎日でした。子どもたちにいろんな体験をさせたいという思いから、時には近所の駅や派出所を見学したり、ある時は園庭に子象が来たこともあります。とにかく毎日が刺激に満ちていて、当時のことを今でも鮮明に思い出すことができます。

私は今、クリエイターとして働いていますが、早緑子供の園で得た日々の体験が、この仕事を目指す一つの要因になった

気がします。何かを作ったり描いたりする楽しさをここで知りましたし、早緑子供の園には一人ひとりを尊重する保育理念があります。自分を自由に表現したいという思いもこの頃から育んでいたみたい

とあります。娘2人もお世話になりましたが、今もその理念が引き継がれています。

普段、会社やお店のロゴマークを製作する事が多いのですが、現在、積極的に取り組んでいるのは「マイロゴ・プロジェクト」です。ロゴマークとは企業やブランドを象徴するマークですがこれを自分でデザインすることで、自身を再認識し自信が持てるようになるのではないか。そう思い立つ、現在は小・中学校を回りながらボランティアで授業を行って

います。子どもたちには、まず巷にあふれるマークの意味や成り立ちを理解してもらい、次に自分のバックトラウンドや将来の夢などについてじっくり考えらります。それを自身のロゴとして表現し、互いに発表し合う。最初はペンが動かなかった子たちも、ロゴで自分を表現することで次第に自信を持つようになります。それと同時に相手を知ろうとする意識も芽生え始めます。

私は21歳からアメリカに約3年間留学し、あらゆる人種が集う中で暮らした経験があります。そこで常に問われるのは、自分はどうありたいか、他者をいかに認められるかということです。「マイロゴ」を通じて、その人としての基本を見つめなおす一つのきっかけになれば嬉しいです。今、情報はスマートフォンで簡単に得られますが、油断していると他人の意見に流されるばかりで、自分を見失いやすい時代もあります。西南学院で学ぶ皆さんには、ぜひ自分というものを持っていてほしい。私も根っからの旺盛な好奇心で、これからも日々楽しみながら前進します。



【プロフィール】1974年生まれ。多摩美術大学卒業後、パブアニューギニアのコロカ大学へ留学。帰国後は東京や福岡を中心に個展を開き、積極的に活動。ベルギーや台湾、シンガポールなど海外の展覧会への出展も多く、マレーシアで行われた「ササンラン国際美術祭」に招待されるなど国内外で活躍中。地元紙「月刊はかた」の表紙を2010年より担当。

画家
八坂 主さん

1980年 西南学院舞鶴幼稚園卒園
1993年 西南学院高等学校卒業

今でも心に刻まれているのは、西南学院舞鶴幼稚園で学んだ「共にそだとう院舞鶴幼稚園で学んだ」「共にそだとう

ひかりの」「といふ園の理念です。「ひかりの」には、神に愛されている子どもとして、喜びと感謝を持って人を愛し、平和をつくりだす子どもという意味が込められています。この教えは、私の根幹の部分にあります。

舞鶴幼稚園では、伸び伸びと過ごしました。毎日のように泥んこになり、工作でのこぎりを使つたこともありました。先生は子どもたちの行動を目につめていつも褒めてくれました。舞鶴

幼稚園の教育には、それぞれの感性を肯定してくれる寛容さがあつたよつに思います。今思えば幼稚園での2年間が最も自分らしく過ごせた時間だったのかもしれません。

高校卒業後は、絵を学ぶため美大に進学しました。しかし、実際に絵画の学びに触れてみると、日本における美術の世界はどこか閉鎖的で、私はそこに美術の本質が見つけられない今まででした。そんな時に訪れたのがパブアニューギニアです。高層ビルがあるわけでもなく、日本の視点からすれば、あまり豊かな国に思えないかもしれません。ただ、日々の生活を笑顔で過ごす人々が多く、「自由な雰囲気」が村全体に満ちており、それはどこか舞鶴幼稚園の空気にも似



The cosmos | 2009年制作 120cm × 120cm
アクリリック・ビニロンキャンバス
宇宙創造の響きを瞑想を通じて感じ取り、絵画に翻訳した作品。現在は東京都の新宿健診プラザに飾られ、来訪者の安寧のために生かされている。

保護者会主催行事

「クリーン・アップ大作戦」

2月23日、保護者会のみなさんが、職員では行き届かない掃除や作業などをしてくださいる年中行事、クリーン・アップ大作戦です。仕事と子育てでお忙しい合間を縫つて、卒園生の応援団も含めたくさんご参加くださいました。その細やか、かつ強力なパワーによって、短時間で園中がピカピカになりました。作業後は楽しいランチの時間で、年長児が大学の田尻グリーンフィールドの水田で収穫したお米と豚汁を感謝していただきました。



子どもが育つ社会 ～異年齢とのかかわり～

早緑の0歳児以外は、1～2歳児と3～5歳児の縦割りクラス編成です。日々の生活や遊びの中で、自分より小さな子に対しても「まだこんなことができる

いんだ」「かわいいな」と思う気持ちが自然と芽生えます。他者を知り、あるがままを受け入れることで、自分とは違う考え方や価値観を持つ相手を理解し、違っていてもいい、みんな大切な存在なんだを感じ、他者をそれぞれに尊ぶ気持ちが育っていくようです。また逆に、ありのままを受け入れられ自分の全てを承認されることで、安心感や心のゆとりが培われ、今度は相手を受け入れることにつながっていきます。子どもたちが幼いうちから身近な人を愛おしく感じじうことができるような環境を整え、見守りたい思っています。



春をよぶ会

1年間の成長した姿を保護者の方に見ていただき春を呼ぶ会を行いました。毎日取り組んでいるリズム運動の他に年少では劇ごっこ、年中ではなわとび、年長では太鼓や名人芸大会など各学年ごとに違うことをします。

子どもたちが日頃から楽しんでいることや頑張っていることなどを行い、年長の名人芸大会では毎日遊んでいる遊びの中から自分で一つ選んで練習し、見てもらいます。「ママやぶんぶんごま、なわとび、雑巾がけなどみんな自信満々の表情が輝いていました。これからも好きなこと、楽しいことを見つけ熱中して、自分らしさを大切に成長していくほしいと願っています。



みんな大好き料理ごっこ

教育の一環として各学年ごとに月に1回程度料理ごっこを行い、カレーやスープ、白玉団子などさまざまなお料理を作ります。畑やプランターで育てた野菜

を使ったり、時にはみんなで近所の八百屋さんに買い物に出かけたりもします。それらの野菜を包丁で切ったり、炒めたり、丸めたり、茹でたりなど色々な調理方法も経験していきます。

自分たちで一から作ることで食に対する興味を引き、美味しさが倍増していく以上によく食べ、苦手な物にも挑戦しようとする子どもたち。そして、「みんなで食べるといいね！」と感じられることが料理ごっこ最大の魅力だと思います。



生きた英語を楽しく学んでいます！

本校では、1年生から5年生が年に1回ずつ、留学生や高校生と英語を使って交流する機会を設けています。10月には3年生、1月には1、2年生が、フィンランド、ハンガリー、フランス、イタリア、ベトナム、台湾、アメリカなどさまざまな国からの留学生と交流しました。児童はランチや校庭での鬼ごっこなどを通じてすぐに打ち解け、各国の言葉でいざつしたり、一緒にカードゲームをしました。

また、クリスマスの時期には、昨年度から4、5年生の児童が西南学院高校3年生との交流を行っています。英語での自己紹介や質問などをし合った後、高校生が「英語会話」の授業の中で作ったオリジナル絵本の読み聞かせを行い、ジェスチャーゲームをしました。これらの取り組みは、英語を使って心を通い合わせることができる喜びを体験する貴重な機会となっています。



早緑のおともだちを招待

11月中旬、1年生の生活科の授業の一環で、早緑子供の園の園児を招待して、「秋の実を使つた遊びで楽しんでもらう会」を実施しました。子どもたちはこの

会に向けて約3週間意気込んで準備しました。待ちに待った当日、最初は1年生も園児も緊張から表情も硬く、なかなか動き出せなかつたのですが、そこは先輩である1年生。勇気を出して自分たちから声をかけ遊びのルールを一生懸命に手取り足取り教えていました。いつもは小学校で一番小さな1年生がとても大きく、たくましく見えた瞬間でした。この会を通して、自分以外の誰かのためにがんばる喜びを感じ、また一つ大きく成長した1年生でした。



西南学院早緑子供の園 年間スケジュール	
2019年	
4月1日 入園式	
4月20日 親子遠足	
5月15日 学院創立記念日	
5月22日 社会見学①	
6月12日 社会見学②	
7月12日 社会見学③	
8月31日 こどもまつり	
9月20日 お泊まり保育(～21日)	
9月28日 育児講座①	
10月19日 運動会	
12月7日 こひつじクリスマス(0、1、2歳児)	
12月21日 さみどりクリスマス	
2020年	
1月18日 育児講座②	
3月3日 卒園礼拝	
3月21日 卒園式	

西南学院舞鶴幼稚園 年間スケジュール	
2019年	
4月12日 入園式	
5月15日 学院創立記念日	
6月28日 年長児合宿保育(～30日)	
7月19日 水と土とあそぼう(未就園児対象)	
9月7日 まいづるまつり	
10月5日 運動会	
10月12日 入園説明会	
10月30日 年中児お泊まり保育(～31日)	
12月14日 クリスマス祝会	
2020年	
2月 春を呼ぶ会(生活発表会)	
3月1日 卒業礼拝	
3月14日 卒業式	
3月20日 子ども同窓会	

西南学院小学校 年間スケジュール	
2019年	
4月11日 第10回入学式	
5月15日 学院創立記念日	
5月27日 春季ミッションウィーク(～28日)	
6月29日 学校公開・説明会	
8月31日 入学説明会	
10月12日 スポーツフェスティバル	
10月16日 秋季ミッションウィーク(～17日)	
12月19日 クリスマスチャペル	
2020年	
2月7日 学習発表会	
3月17日 第7回卒業式	

西南学院中学校・高等学校

『新制西南学院中学校・高等学校開設70周年記念式典・祝賀会』開催!

旧制西南学院中学部は、戦後、新制中学校と新制高等学校という二つの学校に分かれました。2018年は、その戦後の新たな歩みがスタートして70周年という大きな節目の年。これまで中学校・高等学校を支えてくださった全ての方々に感謝し、「おかげでなさい、夢と未来の西南へ」をテーマに、中学同窓会ならびに高校同窓会、中学校・高等学校の三者主催により、10月27日、「新制西南学院中学校・高等学校開設70周年記念式典・祝賀会」を開催しました。

当日、百道浜校地の中高チャペルはさまざまな世代の卒業生や旧教職員をはじめ、多くの関係者の方々で



中学校 陸上競技部 得能玲那さん、全国大会出場!

陸上競技部3年生(当時)の得能玲那さんが、「全日本中学校陸上競技選手権大会」「第49回ジュニアオリエンピック陸上競技大会」の全国大会に出場しました。

ジュニアオリンピック大会においては、100mユースハーフードルと4×100mリレーに出場し、準決勝まで駒を進めました。特に4×100mリレーでは、福岡県チームの第3走者として活躍し、福岡県として過去最高タイムを記録しましたが、残念ながら準決勝で敗退してしまいました。

顧問の椎葉朋貴教諭は、「持ちタイム全国上位で臨んだものの、勝ち上がる難しさを実感した。この悔しさをバネに更なる飛躍を期待したい」と高校での活躍に期待を寄せていました。



高等学校 将棋同好会 大塚玲奈さん、全国新人大会でベスト16進出!

2018年度も、高校では弦楽部、文藝部(詩部門)、陸上競技部(三段跳び)、弓道部、コット部などが全国の舞台で活躍しています。

なかでも、将棋同好会1年生(当時)の大塚玲奈さんは、1月末に全国将棋新人大会に福岡県代表として出場し、見事ベスト16に進出しました。大塚さんは夏の全国高等学校総合文化祭にも出場しており、今回が2度目の全国の舞台。夏の大会では惜しくも予選敗退となりましたが、今回は目標の予選突破をしっかりと果たし、決勝トーナメントに駒を進めました。「夏の大会では悔しい思いをしましたが、今大会では自分の力を精一杯出し切れたと思います」と感想を語りました。



賑わいました。式典では記念講演も行われ、内戦からの復興途上にあるアフリカのルワンダ共和国の研究者であり、中高の卒業生である近藤有希子氏(日本学術振興会特別研究員、文化人類学者)を講師に招き、「傷みまでの距離ー虐殺後のルワンダで人びとの沈黙に対峙してー」と題してご講演いただきました。講演の後、現役の高校生徒会執行部も、熊本地震や九州北部豪雨の被災地でのボランティア活動の報告を行いました。続いて、ビルトン福岡シーオーに会場を移して行われた祝賀会は、懐かしい仲間や恩師との再会を喜び、現役時代の思い出を語り合う、心温まる特別なひとときとなりました。また、中高の弦楽部や合唱部・合唱同好会、吹奏楽部も日頃の練習の成果を披露し、祝賀会は盛会のうちに終了しました。

2018年12月4日の臨時理事会において、G.W.バークレー神学部教授を学長、石森久広大学院法研究科(法科大学院)教授を総務担当、立石剛経済学部教授を教育・研究担当の副学長に選任しました。任期は2018年12月15日～2022年12月14日までの4年間です。

学長にG.W.バークレー教授、副学長に石森久広教授、立石剛教授を選任



副学長(総務担当)(再任)
石森 久広 大学院法研究科
(法科大学院)教授



副学長(教育・研究担当)
立石 剛 経済学部教授



学長(第11代西南学院大学学長)
G.W.バークレー 神学部教授



副学長(総務担当)
立石 剛 経済学部教授

西南学院中学校 年間スケジュール

2019年
4月8日 入学式
5月15日 学院創立記念日
5月20日 前期ミッションウィーク(～21日)
9月16日 体育祭
9月23日 オープンキャンパスI(中学校・高等学校)
11月2日 オープンキャンパスII(中学校・高等学校)
11月18日 後期ミッションウィーク(～20日)
12月17日 クリスマス礼拝
2020年
3月6日 合唱発表会
3月16日 第73回修了式

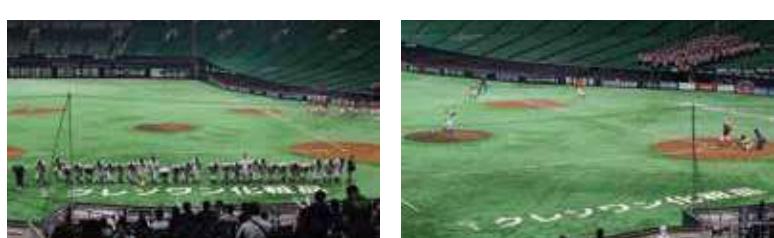
西南学院高等学校 年間スケジュール

2019年
4月8日 入学式
5月15日 学院創立記念日
5月22日 前期ミッションウィーク(～24日)
7月12日 文化祭(～13日)
9月4日 スポーツフェスティバル(～6日)
9月23日 オープンキャンパスI(中学校・高等学校)
10月30日 後期ミッションウィーク(～11月1日)
11月2日 オープンキャンパスII(中学校・高等学校)
12月18日 クリスマス礼拝(～19日)
2020年
3月2日 第72回卒業式

西南学院大学 年間スケジュール

2019年
4月1日 入学式(学部・大学院)
5月15日 学院創立記念日
5月28日 春季キリスト教フォーカス・ウィーク(～30日)
5月31日 C.K.ドージャー先生記念日
8月3日 オープンキャンパス(～4日)
9月25日 前期卒業式・学位記授与式
9月28日 第14回ホームカミングデー
11月14日 大学祭(～17日)
11月26日 秋季キリスト教フォーカス・ウィーク(～28日)
2020年
2月5日 一般入試(～8日)
3月19日 卒業式・学位記授与式

2018年10月10日、桧原運動公園野球場にて、九州六大学野球秋季リーグ優勝決定戦が行われ、硬式野球部が福岡大学に8対3で勝利を收め、58年ぶりとなる活躍が期待されます。



硬式野球部が九州六大学秋季リーグ戦で58年ぶりに優勝!

2018年10月10日、桧原運動公園野球場にて、九州六大学野球秋季リーグ優勝決定戦が行われ、硬式野球部が福岡大学に8対3で勝利を收め、58年ぶりとなる活躍が期待されます。



[プロフィール] 1994年生まれ。2013年、西南学院高等学校卒業。立教大学卒業後、2017年に東北楽天ゴールデンイーグルスに入団。俊足強肩、パワフルな打撃が持ち味のスイッチヒッター、外野手。2018年シーズン後は日本代表(侍ジャパン)にも選ばれた。

■ 地元・福岡での成績が良かったですね。
なぜだかわかりませんが、福岡のヤフオク!ドームでは3割5分の打率です。試合前に高校時代の友人から「見に行くよ」と連絡をもらうことがあるので、意識していないかもどこかで気合が入っています。かまわないですね。不思議です。

■ 「つながり」を
これからも大切にしてほしいですね。今シーズンも皆さんの応援を励みに戦い抜きます。



©Rakuten Eagles

西南学院高等学校出身で、プロ野球パ・リーグの東北楽天ゴールデンイーグルスに所属する田中和基選手が、2018年シーズンの最優秀新人賞(新人王)を受賞しました。

田中選手は、105試合の出場で打率2割6分5厘、18本塁打、45打点、21盗塁という成績を収め、走・攻・守が揃つた選手です。

そんな大活躍の田中選手にインタビューをしました。

■ まずは、新人王獲得おめでとうございます。
ありがとうございます。正直、私が受賞できるとは思っていないかったので、素直に嬉しいです。受賞が決まった時は、高校時代の友人を中心に驚くほどメールやメッセージが届きました。

■ 2018年シーズンを振り返っていかがでしょうか。
当初は2軍スタートで、しかも打率は1割台でした。自分は今年いっぱいかな、などとネガティブな考え方抱いていた時に1軍で出場できるチャンスがあり、開き直って全力で挑もうと思ってプレーしました。無我夢中でやつたら結果がついてきた感じですね。それから、レギュラーに定着できました。

■ 「一番印象に残っている試合は何ですか？」
左右両打席でホームランを打った試合(2018年8月1日、オリックス戦)です。入団した当初から、スイッチヒッターとしては必ず実現したいと思っていたので、達成した時は念願がかなったと思いました。プロ野球ではセ・パを通じて8年ぶりの記録だったらしく、自分でも誇りに思っています。

■ 今シーズンの目標は?
「1番センター」に定着しましたが、成績についてはいかがでしょうか。

怪我無くシーズンを過ごし、レギュラーとして出場し続け、昨年より絶対取り返せたかなと思いますが、満足いく成績ではなかったと思っています。ただ、これからもプロ野球人生において、一つの基準が出来たと感じています。この成績が良かっただけ悪かっただけは、今シーズンの結果次第だと思います。

■ それでは最後に、西南学院の卒業生や在校生へメッセージをください。
大学に進学してからも、プロ野球選手になつてからも感じることは、西南学院は「つながり」が強いということです。ことあるごとに、西南学院に関わりのある方々は私に力強い言葉をかけてくださいますし、それが私の励みになります。

皆さんには、先輩や後輩、同級生や

SEINAN HOT NEWS

西南学院高等学校卒業生の 田中和基選手がプロ野球パ・リーグ新人王に！

学院のフィールド
FIELD OF SEINAN GAKUIN

大学博物館(ドージャー記念館)の 展示資料



キリスト教関連資料や創立者C・K・ドージャーゆかりの品々を展示。百年の歴史を持つ赤レンガの建物は、学院のシンボルとして親しまれています。



常設展示資料



イザヤ書写本(死海文書)(複製)
「死海文書」とは、死海付近で発見されたヘブライ語聖書の断片を含む大小約850の写本群のことです。現存する最も古い聖書文献の一つであり、写本を残した当時のユダヤ教団体の信条や規則も記載された貴重な資料です。



ヴァチカン写本(複製)
旧約聖書と新約聖書のほぼ全巻を含んでいる、最古のギリシア語写本です。写本とは、手書きで記された本のことを指します。本写本はヴァチカン教皇図書館が収蔵しているため、このように呼ばれています。



マリア観音像
慈母観音を聖母マリアに見立てて信仰の対象にしたものを、マリア観音と言います。本資料は、禁教政策下においてもキリスト教を信仰し続けた、長崎の浦上村の潜伏キリシタンが所持していたものです。



魔鏡
一見普通の銅鏡のようですが、鏡面に光を当てて反射させると、十字架にかけられたキリストが投影されます。禁教時代、密かにキリスト教を信仰する必要性から生まれたものであり、高い技術力に裏付けられた魔鏡中の傑作です。

西南学院大学博物館(ドージャー記念館)は、博物館資料を通してキリスト教文化の理解を深めることで、学生の教育に取り組み、その成果を学内のみならず地域社会にも発信することを使命としています。博物館はすべての方に無料で公開されおり、学生や地域の方々をはじめ、県外・海外から多くの方が来館されています。一階の常設展示室では、キリスト教関連資料を多数展示。また、西南学院の創立者であるC・K・ドージャーゆかりの品々を展示するドージャー記念室も併設しています。二階講堂・三階ギャラリーでは、当館の建築にまつわる資料を展示するほか、学会や講演会、コンサートなどのイベント会場としても利用されています。当館は1921(大正10)年にW・M・ヴォーリズの設計によって建築され、かつては中学校・高等学部の本館・講堂として利用されました。中学校・高等学校の移転に伴い耐震工事・修理復元工事が行われ、2006(平成18)年に博物館として再出発しました。また、当館は現存する希少なレンガ造建築として、2015(平成27)年より「福岡県指定有形文化財」「建造物」に指定されています。

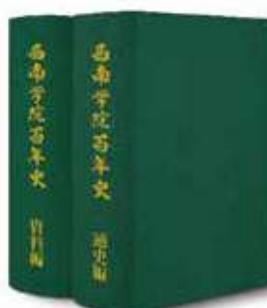



『西南学院百年史』刊行

西南学院創立100周年事業の締めくくりとなる『西南学院百年史』が2019年3月末に刊行されました。『百年史』の体裁は、A5判、通史編(総論・各論)全860ページ、資料編全880ページ、布クロス仕上げとなっています。また、DVD版も用意しております、パソコンでも閲覧できます。

この『百年史』の特徴は、総論各章の初めに「時代背景」を設け、当時の日本や福岡の社会情勢について記述した点と総論・各論の最後にそれぞれ「課題と展望」を設け、次の100年を視野に入れている点です。また、これまで少なかった宣教師関連の英文資料も米国南部バプテスト歴史古文書館などで入手し、編集作業に生かしています。

なお、有償配布は、製本版5,000円、DVD版3,000円、セット版(製本版+DVD版)7,000円、いずれも税込み金額で、送料別、200セット限定となっています。購入については、下記ホームページをご覧ください。



社会連携課西南学院史資料センター

<http://www.seinan-gakuin.jp/archive.html>

西南学院コンサート

「J.S.バッハの世界—バッハの源流を求めてー」のご案内

西南学院コンサート「J.S.バッハの世界—バッハの源流を求めてー」を次の通り開催いたします。

本公司では、長崎・活水学院オルガニストである椎名雄一郎氏がパイオルガンを演奏いたします。

ぜひ、お誘いあわせの上、コンサートをお楽しみください。

日 時：2019年6月22日(土)
開 演：15時00分(開場14時30分)
会 場：西南学院大学チャペル
チケット：一般 前売り1,000円
 当日1,500円
 学生 500円
 ※未就学児の入場はご遠慮ください
 出演者：椎名 雄一郎
(長崎・活水学院オルガニスト、
 活水女子大学音楽学部教授)
お問い合わせ：(株)キャンパスサポート西南
TEL:092-823-3274



(広報・校友課 J.N.)

取材を通じて、創立以来、西南学院では祈りの時間が大事に守られてきたことに感慨を覚えた。また、どのチャペルにおいても、懐かしい気持ちになつたことは不思議だった。チャペルは、西南学院の伝統が息づいている場所だと改めて実感することができた。

本誌は、学院広報誌として、保育所から大学まで、全ての学校に関わる人に対して作成している。今号をお読みいただいた方が、少しでも西南学院に連なる各学校・園の取り組みについて、興味をお持ちいただければ幸いである。

編集後記

西南学院大学 サポーターズ募金

～ご協力のお願い～

西南学院大学では、皆様に“サポーター”として、

大学の教育・研究活動及び学生の学びや課外活動をお支えいただければと思い、2018年4月から「西南学院大学サポーターズ募金」を創設いたしました。本募金では、下記の5つの項目からご希望の使途を選択し、お気持ちに沿った支援が出来るようになっております。厳しい経済環境の折、大変恐縮ではございますが、学生の活動に対しご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

選べる使途の種類

1 大学給付
奨学金

大学給付奨学金制度は、家庭の経済的理由により修学継続が困難な学生に対して、一定の金額を給付することによって、修学を支援し勉学に専念できる環境を整えることを目的として設けられた制度です。

2 教育・研究
活動支援

西南学院大学の教育・研究活動のために用います。本学では、教育に関する特色あるプロジェクトを支援するための制度があり、様々なプログラムを実施しています。

3 スポーツ・
文化活動支援



4 グローバル人材育成支援

ヨーロッパ国際機関研修やツーリズム産業研修など、学生が海外で活躍できるプログラムのために用います。



5 ボランティア活動支援

学生のボランティア活動の支援のために用います。本学ではボランティア活動を建学の精神の具現化並びに大学の社会貢献の一つと位置づけ、ボランティアセンターを設置し、様々な取り組みを行っております。



寄付者銘板の
紹介

ご寄付をいただいた個人様、団体様、法人様のご芳名を刻銘した銘板を、西南学院百年館(松緑館)の1階に設置し、末永く顕彰いたします。

銘板掲載対象：個人5万円以上、団体10万円以上、法人50万円以上の寄付をいただいた方



「募金の使途」、「寄付の方法」、「税制上の優遇」、「ご寄付者への感謝・顕彰」など、詳しくは、募金専用ホームページをご覧ください。

<https://www.seinan-gakuin.jp/supporters/>

西南学院大学 募金

検索

【募金に関するお問い合わせ】

広報・校友課

TEL:092-823-3248 FAX:092-823-3249 E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp

